

「妊娠組織遺残(RPOC)における出血リスクの検討」に関する研究について

1. 研究の対象

2016 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の間に当院産婦人科を受診し、胎盤遺残・胎盤ポリ
ープ・子宮復古不全、のいずれかの病名がついた方

2. 研究目的・方法

2016 年度から 2025 年度にかけて胎盤遺残・胎盤ポリープ・子宮復古不全の病名がつい
た方を抽出し、診療録の内容から、実際に RPOC が認められた方が選定されます。

選定された RPOC の患者さんにおいて、出血リスク因子の有無を判定します。

有していた出血リスク因子と、実際の診療経過とを照合し、輸血や手術などの治療介入
が必要であったかを確認します。予防的な治療介入を行うことで、輸血の使用率を低下
できないかを検討します。

研究期間は、病院長許可日から 2027 年 3 月 31 日までです。

3. 研究に用いる情報の種類

過去の診療録から、下記の情報を得ます。

患者背景：先行出産時の年齢、在胎週数、生殖補助医療、帝王切開の有無

画像検査：超音波画像、必要に応じて MRI 画像

診療情報：治療介入の有無、輸血の有無を判定

(上記の詳細)

- ・ 先行妊娠の在胎週数(第 1, 2, 3 妊娠三半期で分類)
- ・ 先行妊娠の妊娠方法(生殖補助医療の有無で分類)
- ・ 先行妊娠の分娩方法(帝王切開の有無で分類)
- ・ RPOC の子宮内遺残径(長径 4. 4cm で分類)
- ・ RPOC に伴う病的血流の有無(Type3 以上の病的血流の有無で分類)
- ・ 当該疾患とその治療に関連する輸血使用の有無
- ・ 治療介入の要否(子宮内膜搔爬、子宮内バルーンタンポナーデ、血管内治療など)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の
方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出くだ
さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院 産婦人科

住所：静岡県磐田市大久保 512-3

電話：0538-38-5000

研究責任者：

磐田市立総合病院 産婦人科

医長 甲木哲也